

2012年  
5月号

# Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～

国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所発行(No.57)



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

## CONTENTS

### ■ 宮田所長就任のご挨拶

### ■ 最近のトピックス

- ★平成24年度 豊橋商工会議所港湾部会が開催されました
- ★今年度の当事務所の事業予定
- ★高浜の干潟の生きもの調査が開催されました



## 所長就任のご挨拶



三河港湾事務所長  
宮田 亮

4月1日付けで平井所長の後任で参りました宮田と申します。よろしくお願ひします。私は、愛知県出身であり、高校、大学も名古屋の学校に通っておりましたので、大学卒業の22歳まで愛知県で過ごしました。それ以降は、全国を転勤で回っておりましたが、十数年ぶりに地元の愛知に帰ってくることになり、日々、目にする新聞やテレビを見ている懐かしさを感じる事が多々あります。一方で、中部国際空港や道路ネットワークの充実といった交通インフラ面の整備を見ると、随分変わったと感じる部分もあります。さて、当事務所においては、これまで同様に、三河港、衣浦港、両港の港湾機能の強化に向けて、様々な課題に取り組んでいくとともに、三河湾の環境改善についても取り組んでまいります。4月に私も含めメンバーが変わり、新しい体制となりましたが、今後とも事務所一同よろしくお願ひいたします。

## 「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル



おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間\*/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)  
※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所  
〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1  
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所  
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地  
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>  
E-mail [info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp](mailto:info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp)

★平成24年度 豊橋商工会議所港湾部会が開催されました

4月26日、豊橋商工会議所において 臨海部の企業が参加した「平成24年度豊橋商工会議所港湾部会」が開催されました。その場で当事務所の宮田所長が「平成24年度事業概要並びに最近の港湾行政について」というテーマでスピーチを行いました。

スピーチでは、平成24年度に三河港で予定されている事業の概要及び、平成23年度に実施された「三河港地震・津波対策検討会議」について説明を行いました。出席された方々は特に「三河港地震・津波対策検討会議」の説明に興味を持たれたようでした。

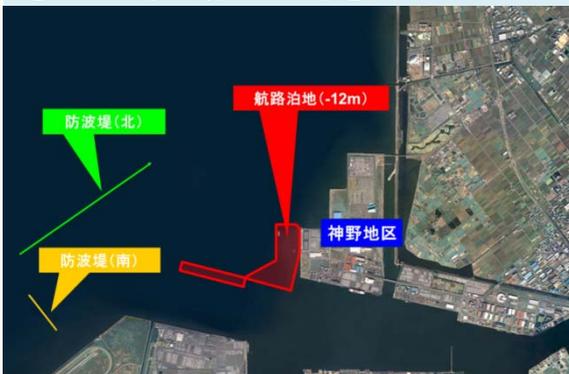


港湾部会の様子

★今年度の当事務所の事業予定

4月5日、平成24年度予算が成立いたしました。中部地方整備局関係予算は生活の安全・安心の確保、必要な社会資本の着実な実施、持続可能で活力ある国土・地域作りの推進など当面する課題に対応する事業に重点をおくこととしています。三河港湾事務所管内の整備内容は以下のとおりです。

●三河港神野地区ターミナル整備事業  
【H24d当初配算額:9.6億】



近年、物流の効率化のため、船舶の大型化が進んでいます。そこで大型船舶に対応し、往来の激しい船舶が安全に航行できるよう、航路泊地※1の増深を行います。また、港内の静穏度※2を確保するため防波堤の整備を行います。

※1 航路泊地:海底を深く掘って船舶が航行できるようにしている箇所を航路、船舶が停泊できる箇所を泊地といいます。  
※2 静穏度:波の穏やかさを示す度合です。船舶がスムーズに入港できるように静穏度を上げるのも港湾整備事業の一つです。

●衣浦港中央ふ頭西地区岸壁(-12m)(改良)整備事業  
【H24d当初配算額:3.8億】

整備から30年以上が経過し、腐食・劣化等で施設機能が低下しているため、安全性確保及び機能の回復を目的とした岸壁本体の改良を行います。



●衣浦港武豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業  
【H24d当初配算額:0.7億】

物流機能の効率化や船舶の大型化に対応するため、航路泊地(-12m)の拡幅を行います。

★高浜の干潟の生きもの調査が開催されました

5月6日、高浜市芳川町の海岸にて、高浜の市民ボランティア団体、渡し場かめ会主催による「高浜の干潟の生きもの調査」が開催されました。

当調査会は、干潟の生物の生態を学ぶことにより高浜の地域の子供たちの海への環境美化意識の向上を図ることを目的とし、毎年開催されています。

当日は、あいにくの曇り空。時折雨が降ることもありましたが、参加者たちはバケツやスコップなどを手に干潟の生きものを親子で熱心に観察し、ヤマトシジミやアシハラガニ、マメコブシガニなど、身近な干潟に多くの生き物が生息していることに驚いていました。また、当事務所の職員から、干潟の役割についての説明を受けると、きれいな海を守るために自分たちが出来ることは何かを一生懸命考えていました。



生きもの調査を楽しむ参加者の皆さん